

鈴川班へき地診療所等 アンケート調査（案）

アンケート調査（案）

目次

- | | | |
|---|-----------------------------|------|
| 1 | へき地保健医療対策に関する意見・要望等（都道府県あて） | P 1 |
| 2 | へき地保健医療対策に関する意見・要望等（市町村あて） | P 3 |
| 3 | へき地診療所へのアンケート（診療所長あて） | P 6 |
| 4 | へき地診療所へのアンケート（全ての医師あて） | P 17 |
| 5 | へき地医療拠点病院へのアンケート | P 24 |

へき地保健医療対策に関する意見・要望等

問1 へき地の住民の受療行動の把握のために行っていることがありますか。【複数回答可】

1. 国民健康保険のレセプトの分析
2. 住民に対する受療状況調査
3. その他()
4. 過去に行ったことがある()
5. 特におこなっていない

問2 へき地の住民の受療状況についてどう考えていますか。

1. 現状のままでよい
2. もっと市町村管内で対応すべきである(患者の流出が起きている)
3. 現状で十二分に行っている
4. その他()

問3 へき地に住む住民の受療行動の改善のためにどのような対策を考えていますか。【複数回答可】

1. 救急搬送システムの充実
2. へき地の医療機関に勤務する医師の確保
3. へき地の医療機関の施設の拡充
4. へき地の医療機関間の連携の強化
5. へき地の医療機関に勤務する専門職の人事交流
6. へき地の医療機関に勤務する職員の研修
7. その他()
8. 特に考えていない

問4 貴都道府県においては患者搬送のために防災ヘリを活用していますか。

a. 活用している

その場合、受入病院の医師が患者搬送に同乗するシステムがありますか

1. 必ず受入病院の医師が同乗することになっている
2. 搬送元の医師が同乗できないときには、受入病院が対応している
3. 受入病院の医師が同乗するシステムはない
4. その他()

b. 活用していない

問5 へき地保健医療対策の充実のため、へき地保健医療対策協議会を設置していますか。

a. ある 年間何回開催されていますか (回)

b. いいえ 協議会を設置しない理由は何ですか

1. 協議会で議論してもへき地保健医療は充実しないと思う
2. 協議会を設置するよりも効果的な対策がある
3. 協議会を設置する経費がない
4. その他()

問6 保健、医療、福祉の円滑な連携のために行っている、あるいは行うこととしていることがありますか。【複数回答可】

1. 担当課の統合
2. 担当職員の連絡会議
3. 担当職員の人事交流
4. 近接して施設を設置
5. その他(具体的に：)

問7 へき地の医師確保のために行っている事業をあげてください。【複数回答可】

1. 自治医科大学出身者の活用
2. 自治医科大学以外の大学出身者の活用
3. 代診システムの整備
4. へき地医療に従事する医師の研修・生涯学習に対する支援
5. へき地医療に従事する医師の生活に対する支援
6. へき地医療に従事する医師の家族に対する支援
7. その他()

問8 第9次へき地保健医療計画において、へき地医療対策を円滑・効果的に実施するためにへき地医療支援機構(以下、機構)が設置されることとなりましたが、貴都道府県では設置されていますか。

- a. 設置されている
- b. 設置されていない

問9 機構には担当医師はおられますか、またその医師は専任ですか。

- a. 担当医師はおり、専任である。
- b. 担当医師はいるが、専任ではない。
- c. 担当医師はいない。

問10 機構を運営する都道府県として、市町村に対して要望することはありますか。具体的にお書きください。

問11 へき地医療支援機構を運営する上で障害があればお書きください。

問12 へき地保健医療の充実のため、独自で行っている事業があればあげてください。(必要があれば続紙をつけてください)

問13 へき地保健医療対策に関するご意見をお聞かせください。(必要があれば続紙をつけてください)

市町村名

へき地保健医療対策に関する意見・要望等

問1 住民の受療行動を把握するために行っていることがありますか。【複数回答可】

1. 国民健康保険のレセプトの分析
2. 住民に対する受療状況調査
3. その他()
4. 過去に行ったことがある()
5. 特におこなっていない

問2 住民の管内の医療機関に対する受療状況についてどう考えていますか。

1. 現状のままでよい
2. もっと市町村管内で対応すべきである(患者の流出が起きている)
3. 現状で十二分に行っている
4. その他()

問3 住民の管内の医療機関に対する受療を増加させるためにどのような対策を考えていますか。

1. 医療機関の診療体制の充実(ハード面)
2. 医療機関の診療体制の充実(人的資源)
3. 送迎バスなどの受診支援
4. その他()
5. 特に考えていない

問4 管内の救急医療体制についてどう考えていますか。

1. 現状のままでよい
2. もっと市町村管内で対応すべきである(患者の流出が起きている)
3. 現状で十二分に行っている
4. その他()

問5 管内の救急医療体制を充実するためにどのような対策を考えていますか。

1. 管内医療機関の診療体制の充実
2. 近隣市町村の医療機関との連携システムの構築
3. 患者搬送車などの受診支援
4. その他()
5. 特に考えていない

問6 管内の時間外の医療体制についてどう考えていますか。

1. 現状のままでよい
2. もっと市町村管内で対応すべきである(患者の流出が起きている)
3. 現状で十二分に行っている
4. その他()

問7 管内の時間外の医療体制を充実するためにどのような対策を考えていますか。

1. 管内医療機関の診療体制の充実
2. 近隣市町村の医療機関との連携システムの構築
3. 患者搬送車などの受診支援
4. その他()
5. 特に考えていない

問8 住民の医療に対するニーズを市町村としてどう考えていますか。

1. もっと市町村管内で対応してほしい(患者の流出が起こっている)
2. 現状に特に不満はない
3. 現状で十二分に行っている
4. その他()

問9 今後、貴市町村の保健医療福祉政策においてもっとも充実していきたいものは何ですか。

1. 病気にならないために保健政策を充実していきたい
2. 病気になったとき、安心してかかれるように医療を充実していきたい
3. 病気に倒れたとしても安心して生活できるように福祉を充実していきたい
4. 村おこしなど、地域の活性化を進めて生きたい
5. その他()

問10 へき地の救急医療の拡充のため、今後優先的に取り組みを強化する必要がある(または、してほしい)項目にはどのようなことがありますか。【複数回答可】

1. 救急ヘリコプターの活用
2. 道路網の整備
3. ドクターカーの推進
4. 救急救命士の配置
5. その他()

問11 保健、医療、福祉の円滑な連携のために行っている、あるいは行うこととしていることがありますか。【複数回答可】

1. 担当課の統合
2. 担当職員の連絡会議
3. 担当職員の人事交流
4. 近接して施設を設置
5. その他(具体的に:)

問12 へき地の医師確保のために行っている事業をあげてください。【複数回答可】

1. 自治医科大学出身者の活用
2. 自治医科大学以外の大学出身者の活用
3. 代診システムの整備
4. へき地医療に従事する医師の研修・生涯学習に対する支援
5. へき地医療に従事する医師の生活に対する支援
6. へき地医療に従事する医師の家族に対する支援
7. その他()

問13 市町村合併によるへき地保健医療への影響はありますか。

a. ある(例：診療所の合併・統合などの存続の問題、診療所職員の削減、
政策決定の独自性の低下等)

具体的にお聞かせください。

b. ない

問14 第9次へき地保健医療計画において、へき地医療対策を円滑・効果的に実施するためにへき地医療支援機構(以下、機構)が設置されましたが、貴都道府県の機構がどこに設置されているかご存知ですか。

a. 知っている

b. 知らない

問15 機構から貴市町村宛に何か情報が送られてきたことがありますか

a. ある

b. ない

問16 機構が行っている事業のうち、貴市町村で利用しているものはありますか。【複数回答可】

1. へき地医療拠点病院からの医師派遣(代診)
2. へき地医療従事者の派遣登録(人材プール)
3. へき地医療従事者に対する研修
4. 遠隔医療などの各種診療支援事業
5. 特に利用していない

具体的な利用実績があればお書きください。

問17 へき地保健医療の充実のため、独自で行っている事業があればあげてください。

(必要があれば続紙をつけてください)

問18 へき地保健医療対策に関するご意見をお聞かせください。(必要があれば続紙をつけてください)

7) 平日の時間外の診療体制はどうなっていますか。

ア) 自宅に直接電話等で連絡をしてもらう

イ) 診療所の転送電話で自宅や携帯電話に連絡してもらい対応

ウ) 夜間の輪番制があり、輪番制の中で対応をしている

エ) その他 ()

オ) 特に診療体制はない

- ・診療体制がない理由：①時間外は地域から離れたところにいる
- ②あまり必要がない
- ③勤務時間以外は休養させたい(休養したい)
- ④赴任時の契約による
- ⑤医師1人で診療が可能な体制ではない
- ⑥その他

8) 勤務医師及び歯科医師数

常勤医師：	名	非常勤医師：	名
常勤歯科医師：	名	非常勤歯科医師：	名

9) 診療所の医師、歯科医師以外のスタッフの構成を記入してください。

看護職員	常勤	名	非常勤	名
事務職員		名	その他医療関係職種()

10) 診療所の平均的な1日外来患者数、及び時間外患者数は何名ですか。

1日平均患者数：	名	時間外患者数	月：	名
----------	---	--------	----	---

11) 同じ診療圏内には貴診療所の他にいくつの医療機関がありますか。

施設

12) 同じ診療圏内にある医療機関の診療科は下記のうちどれですか(複数回答可)。

複数の医療機関が存在する場合は、全ての診療科目をご記入ください。

ア) 内科、 イ) 外科、 ウ) 整形外科、 エ) 小児科、 オ) 産婦人科
カ) 脳神経外科、 キ) 眼科、 ク) 耳鼻いんこう科、 ケ) 歯科、
コ) その他 () () ()

13) 一番近い後方病院の診療科は下記のうちどれですか(複数回答可)。

ア) 内科、 イ) 外科、 ウ) 整形外科、 エ) 小児科、 オ) 産婦人科
カ) 脳神経外科、 キ) 眼科、 ク) 耳鼻いんこう科、 ケ) 歯科、
コ) その他 () () ()

その病院までの移動距離、所要時間、搬送手段をお知らせください。

()km ()分 ()

14) 各医療機関間の連携において行われていることをお書きください(複数回答可)。

ア) 研修会の開催

5. へき地医療拠点病院（へき地中核病院もしくはへき地医療支援病院）について問題点があれば下記の中からお選びください（複数回答可）。

- ア) 相談する窓口としての責任者が決まっていない
- イ) へき地医療支援に対する院内の体制が十分でない
- ウ) 必要とされる専門的診療科の支援、相談を受けられない
- エ) 代替医師の派遣が十分にできない
- オ) 距離が遠いため実際の支援を受けられない
- カ) 患者の受け入れをしてもらえない
- キ) 研修を受けることができない
- ク) その他()

6. へき地医療支援機構（以下、機構）が設置されましたが、貴都道府県における機構がどこに設置されているかご存知ですか。

- ア) 知っている
- イ) 知らない

7. 機構の機能として代診医の派遣や研修会の開催などがありますが、利用したことがありますか。

- ア) 代診医師の派遣を受けたことがある
- イ) 研修会に参加したことがある
- ウ) その他の機能を利用した()
- エ) 利用したことはない

8. 機構から貴診療所に何か情報が送られてきたことがありますか。

- ア) ある
- イ) ない

9. 貴診療所の運営にとって機構の機能は満足のものですか。

- ア) はい
- イ) いいえ

10. 機構が円滑に活動するための障害にはどのようなものがあると思われますか。

11. 以下の救急事例について搬送が必要と判断された場合、必要な搬送時間および年間の搬送実績をご回答ください。

- | | | |
|-----------------------------------|------------|------------|
| 1) 脳卒中などの脳血管障害 | 所要搬送時間()分 | 年間搬送実績()件 |
| 2) 急性心筋梗塞などの心疾患 | 所要搬送時間()分 | 年間搬送実績()件 |
| 3) 緊急手術が必要な外傷患者 | 所要搬送時間()分 | 年間搬送実績()件 |
| 4) 専門的な判断が必要な小児救急 | 所要搬送時間()分 | 年間搬送実績()件 |
| 5) 専門的な判断が必要な産科救急 | 所要搬送時間()分 | 年間搬送実績()件 |
| 6) 高齢者の呼吸困難、腹痛など
診断がはっきりつかない患者 | 所要搬送時間()分 | 年間搬送実績()件 |

12. 緊急搬送の際、ヘリコプター搬送（航空機搬送を含む）を活用したことがありますか。年間の利用回数、そのうち診療所医師が同乗した回数、搬送にかかる時間、搬送後の医師の帰路の交通手段、診療所医師が同乗する際の問題点について教えてください。

- 1) ヘリコプター搬送：年間 回
うち診療所医師が同乗した回数 回
- 2) ヘリコプター搬送にかかる時間
搬送を依頼してヘリに乗るまで 昼()分 夜()分
ヘリによる搬送時間 昼()分 夜()分
ヘリ到着後、搬送先到着まで 昼()分 夜()分
- 3) 航空機搬送：年間 回
うち診療所医師が同乗した回数 回
- 4) 航空機搬送にかかる時間
搬送を依頼して航空機に乗るまで 昼()分 夜()分
航空機による搬送時間 昼()分 夜()分
航空機到着後、搬送先到着まで 昼()分 夜()分
- 5) 医師の帰路の交通手段 ア) ヘリコプター
イ) 公的交通手段
ウ) その他 ()
- 6) 医師同乗の問題点(複数回答) ア) その間診療所に医師がいなくなること
イ) 帰りの交通手段
ウ) その他 ()

13. へき地・離島の医療状況についてお聞きします。次の症例についての診療および搬送の実績、現在の医療の状況、今後の対応、その場合の予算などについてお答えください。

現在、貴診療所に対応できますか。	理想的にはどう対応すべきと思われますか。 (現在の状況に関わらずお答えください)
ア) 診療所で診療可能である。 イ) 医療圏内で対応が可能である。 ウ) 医療圏内では対応が不可能である。	ア) 常時対応すべきである。 イ) 臨時的な対応で十分である。 ウ) 対応する必要がない。 ア) イ) の場合、現状で対応が不可能な理由を聞かせてください。 ①人的資源、②資金、③その他〇

a) 胃がん

年間の症例数

貴診療所での 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年

診療実績

診療圏外への 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年

搬送実績

胃透視、胃カメラ などのがん検診	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
---------------------	----------	-----------------------------

検診の二次検査	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
胃がんの手術	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
術後、退院後の 外来通院経過観察	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇

b) 心臓病

年間の症例数

貴診療所での 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年
診療実績

診療圏外への 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年
搬送実績

外来での心電図、 心エコー等の検査	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
急性心筋梗塞に対 する心臓カテーテ ルを用いた治療	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
心筋梗塞治療後 (退院後)の外来通 院と薬物治療	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇

c) 脳血管障害

年間の症例数

貴診療所での 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年
診療実績

診療圏外への 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年
搬送実績

頭部CTスキャン	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
脳出血に対する 開頭血腫除去手術	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
脳出血に対する 片麻痺(半身不随) に対するリハビリ	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
前述のリハビリ終 了後、後遺症を残 した状態での在宅 医療と介護支援	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇

d) 糖尿病、高脂血
症などの生活習慣病
の長期管理

年間の症例数

貴診療所での 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年
 診療実績
 診療圏外への 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年
 搬送実績

胸部X線撮影と血液検査による評価	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
生活指導 (運動指導を含む)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
栄養指導	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇

e) 外傷

年間の症例数

貴診療所での 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年
 診療実績
 診療圏外への 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年
 搬送実績

交通事故による腹腔内出血に対する初期治療(気道管理、輸液、診断等)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
脾臓破裂に対する開腹止血手術	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
大腿骨骨折(閉鎖性)に対する手術	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
大腿骨骨折整復術後のリハビリ	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇

f) 産科

年間の分娩数

貴診療所での 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年
 診療実績
 診療圏外への 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年
 搬送実績

妊婦健診	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
正常分娩の介助	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇
帝王切開術	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他〇

g) 小児科

年間の症例数

貴診療所での 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年
診療実績

診療圏外への 年間 例 1例/年未満の場合は()例/()年
搬送実績

乳幼児健診	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他()
予防接種	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他()
小児の輸液	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他()
学校医	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他()

14. 現在、貴診療所において以下の医療内容(診療・管理)の実施状況についてお答えください。
貴診療圏において発生したそれぞれの健康問題のうち、貴診療所が対応していると思われる割合
(%)をお書きください。

- ①常勤医師または常勤職員が行っている
- ②非常勤医師または非常勤職員が対応している
- ③当診療所では行っていないが、診療圏内の他の施設で対応している
- ④当診療圏内で対応している施設はない

	①	②	③	④	貴診療所が対応している割合 ()%
ア) 小児(乳幼児)の診療	①	②	③	④	()%
イ) 産科診療(妊婦健診)	①	②	③	④	()%
ウ) 産科診療(正常分娩)	①	②	③	④	()%
エ) 婦人科診療	①	②	③	④	()%
オ) 整形外科診療(慢性期)	①	②	③	④	()%
カ) 骨折患者の診療	①	②	③	④	()%
キ) 眼科診療	①	②	③	④	()%
ク) 耳鼻科診療	①	②	③	④	()%
ケ) 皮膚科診療	①	②	③	④	()%
コ) 救急患者の初期対応	①	②	③	④	()%
サ) 歯科診療	①	②	③	④	()%
シ) 糖尿病のインスリン導入	①	②	③	④	()%
ス) 生活習慣病の慢性管理	①	②	③	④	()%
セ) 往診・在宅医療	①	②	③	④	()%
ソ) 栄養指導	①	②	③	④	()%
タ) 運動指導	①	②	③	④	()%
チ) 予防接種	①	②	③	④	()%
ツ) 乳幼児健診	①	②	③	④	()%
テ) 学校医・園医	①	②	③	④	()%
ト) リハビリテーション	①	②	③	④	()%
ナ) ペインクリニック	①	②	③	④	()%